

大阪情報コンピュータ専門学校 授業シラバス (2019年度)

専門分野区分	システム設計	科目名	内部設計	科目コード	T1242A1
配当期	前期・ 後期 ・通年	授業実施形態	通常 ・集中	単位数	4単位
担当教員名	櫻井 健一	履修グループ	2D(KS/KW/MP)	授業方法	演習
実務経験の内容	約10年にわたって複数のシステム開発会社で勤務しその間に、主に業務システムの受託開発や設計、通信機器の組み込み開発を経験しました。その後、約10年間フリーランスやシステム開発会社の社外CTOを経て、日系オーストラリア企業の取締役となり主にオセアニア地域の流通システム設計や開発を行った経験を持っています。それらの経験を活かして成功事例やもちろん現場で陥りやすい失敗事例なども具体的に出しながらよりよい内部設計とは何かを一緒に探っていける講義を心がけます。				
学習一般目標	システム開発の基本となるウォーターフォールモデルの内部設計工程に必要な技術を習得する。実習課題を通じて内部設計工程で求められる「外部設計書の理解」、「DFDの作成」「サブシステムのプログラム分割とプログラム仕様書作成」、「データベース仕様書の作成」、「画面設計書の作成」、「内部設計書の作成」「結合テストを含むテスト全般の仕様作成と実施」の一通りの作業を経験することを到達目標とし、3年生前期の「内部設計演習」においてより実践的な実習に取り組むための基本技術を習得する。				
授業の概要および学習上の助言	レベル別に構成された実習課題に繰り返し取り組んでいくことで、内部設計の前工程の外部設計工程の成果物である外部設計書を基に各機能を実現するDFD作成・プログラム分割とプログラム仕様書作成、データベース仕様書の作成、画面設計書作成、テスト仕様作成と実施の作業を一通り経験する。3年生前期の「内部設計演習」における実践的な実習ができるように積極的に課題に取り組んで欲しい。				
教科書および参考書	IT戦略とマネジメント (インフォテック・サーブ:1年次履修の「システム開発基礎」テキストを使用)				
履修に必要な予備知識や技能	ウォーターフォールモデル型開発およびプログラム設計・テストに関する技術および内部設計の基本的な知識				
使用機器	実習室にあるWindowsパソコン。なお、個人のパソコンにもVisual Studioをインストールすることができる。詳しくは初回の授業で説明する。自学自習のためにも個人のパソコンに開発環境を作成することを勧める。				
使用ソフト	開発環境: Microsoft Visual Studio2017 使用言語: Visual C# 各ドキュメントの作成等は、Microsoft Word やMicrosoft Excel も使用する。				
学習到達目標	学部DP(番号表記)	学生が達成すべき行動目標			
	1、2	上流工程である外部設計工程のドキュメントを読むことができる			
	1、2	基本的なデータフローダイアグラム(DFD)を作成することができる			
	1、2	基本的なサブシステムのプログラム分割およびプログラム仕様書の作成ができる			
	1、2	基本的なデータベース仕様書を作成することができる			
	1、2	基本的な画面設計書および画面遷移図を作成することができる			
	1、2	簡単なテスト仕様(結合テストを含む)作成および実施ができる			
5	専門知識や技能を修得するために自ら継続的に学習する				

達成度評価	評価方法	試験	クイズ 小テスト	レポート	成果発表 (口頭・実技)	作品	ポート フォリオ	その他	合計	
	総合評価割合				70				30	100
	学部 D P	1.知識・理解			40					40
		2.思考・判断			30					20
		3.態度								
		4.技能・表現								
		5.関心・意欲							30	30
評価の要点	評価方法	評価の実施方法と注意点								
	試験									
	クイズ 小テスト									
	レポート	授業中に出题する実習課題の提出物（各種仕様書・設計書）の完成度を評価する。								
	成果発表 (口頭・実技)									
	作品									
	ポートフォリオ									
	その他	授業への出席や実習課題への取り組み姿勢などを総合的に判断する。								

授業明細表

回数 日付	学習内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)
第1週 /	科目オリエンテーション ウォータフォールモデルの全体像及び本科目の位置づけ・目的を理解する	講義・実習	
第2週 /	内部設計概要理解1 内部設計書を通じて内部設計で作成する成果物の構成を理解し、例題で未完成の内部設計書を完成させる実習を行う	講義・実習	
第3週 /	内部設計概要理解2 第3週の内部設計書完成作業の続きを行い、内部設計の全体像の理解を深める	講義・実習	
第4週 /	外部設計書理解 外部設計書の構成物及び設計書の読み方の講義の後に、初級レベルの外部設計書の内容理解に取り組む	講義・実習	
第5週 /	プログラム分割実習1 初級レベルの外部設計書に含まれる概略 DFD に基づいて詳細 DFD 作成およびサブシステムのプログラム分割実習を行う	講義・実習	
第6週 /	プログラム分割実習2 初級レベルの外部設計書に含まれる概略 DFD に基づいて詳細 DFD 作成およびサブシステムのプログラム分割実習を行う	講義・実習	
第7週 /	プログラム仕様書作成実習 第5～6週のプログラム分割結果に基づきプログラム処理概要・プログラム間インタフェース・プログラム一覧を含むプログラム仕様書の作成実習を行う	講義・実習	
第8週 /	データベース設計実習1 初級レベルの外部設計書に基づき ER 図によるデータベースモデル設計とテーブル設計を行い、データベース仕様書を作成する実習を行う	講義・実習	
第9週 /	データベース設計実習2 初級レベルの外部設計書に基づき ER 図によるデータベースモデル設計とテーブル設計を行い、データベース仕様書を作成する実習を行う	講義・実習	

第10週 /	画面設計実習1 初級レベルの外部設計書に含まれる概略画面設計書に基づき、画面設計書および画面遷移図作成実習を行う	講義・実習	
第11週 /	画面設計実習2 初級レベルの外部設計書に含まれる概略画面設計書に基づき、画面設計書および画面遷移図作成実習を行う	講義・実習	
第12週 /	テスト実習 結合テストを含むテスト仕様書作成、テスト実施、テスト成績書作成実習を行う	講義・実習	
第13週 /	総合演習1 実際の業務システムの比較的簡単な部分を題材として、外部設計書の理解・DFD作成・プログラム分割、データベース設計・画面設計・テスト設計を行い、内部設計書一式を完成する	講義・実習	
第14週 /	総合演習2 実際の業務システムの比較的簡単な部分を題材として、外部設計書の理解・DFD作成・プログラム分割、データベース設計・画面設計・テスト設計を行い、内部設計書一式を完成する	講義・実習	